



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会
2017 年度事業報告

2017 年度は上半期に、進行中の「第 3 期中期ビジョン（2014-2018）」の中間的な評価と見直しを行い、重点事業の進捗と修正すべき事業についての確認を行った。大きな変更点としては、ボランティアコーディネーション力検定とともに検討を続けてきた〈認定ボランティアコーディネーターシステム〉の構築を見送り、新たな形でのボランティアコーディネーション実践の評価と普及をめざした事業開発へと方針を転換したことである。“認定システム”は 1 級検定合格者からの期待もあり、小人数のゼミ型学習を経て優れたボランティアコーディネーターとして JVCA が認定することをめざして検討してきたが、自立的かつ継続的な事業として構築するためには課題も多かった。さらに、さまざまな人や組織とともに進めるボランティアコーディネーションの特性や、ボランティアコーディネーション力を必要とする分野や職種がますます拡大する状況をかんがみると、人の認定ではなく、優れた実践を可視化し評価することが効果的と判断した。時代のニーズに適合したインパクトのあるしくみを検討し、事業として構築することを次年度の課題にしたい。

本年度の当初にかかげた重点事業の進捗と成果については、以下のとおりである。

1 ボランティアコーディネーション力を可視化し、その重要性についての認知を広げる

ボランティアコーディネーション力が発揮された成果を可視化するために、2016 年度に『グッドプラクティス事例集 VOL.1』発行し、1 年で 500 部を完売した。2017 年度はその増刷と、第 2 弾の編集に取りかかり 2018 年 2 月には発行予定である。また、2017 年初めに完成した『生活支援コーディネーター活動ハンドブック』を活用し、地域課題に取り組む多様なコーディネーターに向けての活動の視点とヒントを提供した。

2 ボランティアコーディネーション力検定の受験者を拡大し、社会への浸透を図る

ボランティアコーディネーション力検定を知ってもらうための PR 活動を展開し、合格者は 1 級 70 人、2 級 503 人、3 級 3,933 人となった。全国の幅広い地域、分野での検定開催を実現するために 3 級検定の共催団体を募ったが、計画の 10 件を下回る 7 件となり、その影響もあって 3 級検定受験者の総数も 469 人（目標は 600 人）にとどまった。2018 年度に向けての共催団体の開拓は急務の課題である。

3 職務としてのボランティアコーディネーションの質を高めるために、研修体系を整備する

ボランティアコーディネーターの研修体系を構築するために研修開発委員会を中心に協議した。全国各地で実務経験を重ねる中堅コーディネーターに学びと研鑽の機会を提供するために〈集合型〉以外の研修形態の検討も行ったが、体系化にはまだ至っていない。並行して、実務者向けの研修を複数回実施し、新たなテーマや研修プログラムも試行した。

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会2017福岡・大野城」の開催及び評価

大野城市社会福祉協議会と NPO 法人ミディエイドの協力により、福岡県大野城市内において全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）2017 を開催した。プログラムの企画・立案については福岡県および近県のボランティアコーディネーション実践者で構成する実行委員会が行った。

（実行委員長：小谷 広幸氏）

テーマ：「ちがいをつなぐコーディネーターの軸を手に入れよう！

～^{ひとごと}他人事から^{わがごと}自分事へ、市民自治に向かって～

期 日：2017年 3月4日（土）～5日（日）

会 場：大野城まどかびあ、大野城市総合福祉センター、大野城市役所新館

分科会：22 分科会

参加者：250 人

実行委員：49 人

運営ボランティア：26 人

講師・事例報告者等：延べ 74 人

（実行委員との重複あり）



実行委員会開催状況

回	期 日	会 場	参加人数
第 13 回	1 月 15 日（日）	大野城市総合福祉センター	31 人
第 14 回	2 月 5 日（日）	大野城市総合福祉センター	27 人
第 15 回	2 月 25 日（土）	大野城市総合福祉センター	23 人
第 16 回	3 月 20 日（月・祝）	大野城市総合福祉センター	30 人

②「全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 信州」（開催地：長野県）の準備

長野県において初の全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）を開催することが決定した。プログラムの企画・立案については長野県内を中心としたボランティアコーディネーション実践者・関係者で構成する実行委員会を設置し、会議を開催している。第2回の実行委員会では、山田千代子氏（長野県 NPO センター代表理事）を実行委員長に選任した。現地事務局は特定非営利活動法人長野県 NPO センターに置き、10月よりアドバイスタッフを配置。長野県長寿社会開発センター、長野県社会福祉協議会、長野市社会福祉協議会の実行委員が事務局業務を分担し、協働体制で準備を進めている。

12月11日（月）には開催要項・チラシおよび専用 WEB サイトが完成し、全国に向けて参加者募集を開始した。

実行委員会開催状況

回	期日	会場	参加人数
準備会	5月1日（月・祝）	長野県NPOセンター	9人
第1回	5月20日（土）	長野県社会福祉総合センター	17人
第2回	6月11日（土）	長野県社会福祉総合センター	25人
第3回	7月17日（月・祝）	浅間温泉・和泉荘（JVCA 運営委員合同）	40人
第4回	7月22日（土）	長野県社会福祉総合センター	20人
第5回	8月26日（土）	長野県社会福祉総合センター	20人
第6回	9月18日（月・祝）	長野市ふれあい福祉センター	29人
第7回	10月9日（月・祝）	長野市ふれあい福祉センター	23人
第8回	10月15日（日）	もんぜんぶら座	26人
第9回	11月4日（金・祝）	長野市ふれあい福祉センター	30人
第10回	11月17日（金）	もんぜんぶら座	19人
第11回	11月23日（木・祝）	長野市ふれあい福祉センター	27人
発送	12月12日（火）	長野県社会福祉総合センター	—
第12回	12月17日（日）	長野県社会福祉総合センター	30人

（2）研修の開催および研修企画の支援

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 1回・1カ所（東京）
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 2回・2カ所（東京・大阪）
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催 2回・4カ所（東京・大阪）
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催 7回

→①②③④は（3）の項に掲載

⑤各種研修セミナーの開催

・初心者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修 2回（東京・大阪）

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター基礎研修	6月30日（金） ルーテル市ヶ谷センター （東京）	唐木理恵子 倉本 泰孝 後藤麻理子	38人
第43期 ボランティアコーディネーター養成講座	7月8日（土） 大阪府社会福祉会館	青山 織衣 岩本 裕子 南 多恵子	60人

・実践者向け：ボランティアコーディネーター実務研修（基礎） 2回

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター実務者研修 テーマ：ボランティアプログラム開発	6月11日（日） ドーンセンター（大阪）	筒井 のり子	11人
ボランティアコーディネーター実務者研修 テーマ：実践に生かせる「技」をつかむ	6月18日（日） 東京しごとセンター	妻鹿 ふみ子	16人

・実践者向け：ボランティアコーディネーター実務研修（応用） 2回

タイトル	期日・会場	講師	参加者
ボランティアコーディネーター実務者研修Ⅰ テーマ：ボランティアの継続につながる リコグニションの手法と実践	11月14日（火） ルーテル市ヶ谷センター	小原 宗一	6人
ボランティアコーディネーター実務者研修Ⅱ テーマ：ボランティアの高齢化と向き合う	12月20日（水） ドーンセンター（大阪）	加留部貴行	9人

⑥研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVC Aの理事・役員等を派遣した。

派遣 105件 研修日数 128日 / 派遣講師 20人（実人数）

・講師派遣事業拡大のために「講師派遣・紹介のご案内」、研修メニュー、講師リストをWEBサイトに掲載している。

⑦東日本大震災・被災地の復興に向けたコーディネーション力の強化と人材育成

・福島県市町村社会福祉協議会生活支援相談員等に対する研修企画・実施への協力

新任の生活支援相談員等研修（5月29～30日/10月19～20日）への講師派遣を行った。

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施、認定システムの開発

①ボランティアコーディネーション力 1 級検定試験の実施 1 回

本年度第 1 回（通算第 6 回）ボランティアコーディネーション力 1 級検定の直前研修を開催するとともに、別日程で 1 級検定試験を東京と大阪の 2 会場で実施した。

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第 1 回> 東京：北とぴあ	7 月 31 日（月） ～8 月 1 日（火） 直前研修	筒井のり子、早瀬 昇、 小原 宗一、岩井 俊宗 後藤麻理子	22 人
【東京】 飯田橋セントラルプラザ	8 月 6 日（日） 試験	<試験監督> 妻鹿ふみ子、疋田 恵子、 岩井 俊宗、永井 美佳、 垂井加寿恵、竹田 純子	12 人
【大阪】 大阪府社会福祉会館			10 人

<第 1 回（通算第 6 回） 1 級検定 試験結果>

受験者数	22 人	合格者数	7 人	合格率	31.8%
------	------	------	-----	-----	-------

②ボランティアコーディネーション力 2 級検定試験の実施 2 回・2 カ所

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
<第 1 回> 通算 15 回 東京会場 NATULUCK 飯田橋東口店	8 月 26 日（土） ～8 月 27 日（日） 直前研修 & 検定試験	小原 宗一 後藤麻理子 疋田 恵子 栗木 梨衣	28 人
<第 2 回> 通算 16 回 大阪会場 大阪府社会福祉会館	10 月 28 日（土） ～10 月 29 日（日） 直前研修 & 検定試験	早瀬 昇 後藤麻理子 竹田 純子 新堀 春輔	49 人

<第 1・2 回 2 級検定 試験結果>

	東京	大阪	合計
受験者数	28 人	49 人	77 人
合格者数	16 人	40 人	56 人
合格率	57.1%	81.6%	72.7%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施 2回（主催）

<第1回検定の実施>（通算第23回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 飯田橋セントラルプラザ <共催：東京ボランティア・市民活動センター>	6月24日（土） ・直前研修 ・検定試験	三田 響子 後藤麻理子	72人
大阪会場 大阪府立労働センター（エル・おおさか） <研修共催：大阪ボランティア協会>		永井 美佳 加留部貴行	58人

<第2回検定の実施>（通算第24回）

開催地・会場	期 日	講 師	受験者
東京会場 飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>	12月3日（日） ・直前研修 ・検定試験	阿南健太郎 三田 響子	57人
大阪会場 大阪府立労働センター（エル・おおさか） <研修共催：大阪ボランティア協会>		岡村 こず恵 青山 織衣	46人

試験結果	2017年度 第1回		2017年度 第2回		合計
	東京	大阪	東京	大阪	
受験者数	72人	58人	57人	46人	233人
合格者数	63人	51人	50人	44人	208人
合格率	87.5%	87.9%	87.7%	95.7%	89.3%

<共催検定>（計画 10回）

共催団体	期 日	講 師
①東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	6月24日（土） ※東京の主催検定と合体	三田 響子 後藤麻理子
②長野県社会福祉協議会	9月24日（日）	筒井のり子
③東北公益文科大学		唐木理恵子
④名古屋学院大学		三田 響子
⑤西南学院大学	11月3日（祝・金）	加留部貴行
⑥公益財団法人とちぎ YMCA	12月3日（日）	唐木理恵子 土崎 雄祐
⑦龍谷大学	12月10日（日）	筒井 のり子

試験結果	①	②	③	④
受験者数	31人	22人	34人	33人
合格者数	28人	21人	31人	31人
合格率	90.3%	95.5%	91.2%	93.9%

	⑤	⑥	⑦	合計
受験者数	71人	21人	24人	236人
合格者数	64人	17人	20人	212人
合格率	90.1%	81.0%	83.3%	89.8%

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所 属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1級
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
○☆ 6	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会	2級
7	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2級
8	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2級
9	垂井加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2級
10	赤澤 清孝	ユースビジョン	2級
11	濱屋 伸子	京都市国際交流協会	2級
12	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2級
☆ 13	加留部貴行	九州大学	3級
14	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3級
15	上田 英司	日本 NPO センター	3級
16	足立 陽子	首都大学東京 ボランティアセンター	3級
17	三田 響子	相模原市社会福祉協議会	3級

・各級チームミーティングの開催

« 1級検定チーム»

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	7月 8日 (土)	JVCA 事務所	2人
第2回	8月 12日 (土)	JVCA 事務所	4人

« 2級検定チーム»

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	3 月 26 日 (日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	6 人
第 2 回	5 月 14 日 (日)	京エコロジーセンター	6 人
第 3 回	6 月 18 日 (日)	京都市国際交流協会	4 人
第 4 回	7 月 9 日 (日)	龍谷大学 大阪梅田キャンパス	5 人
第 5 回	8 月 20 日 (日)	ユースビジョン	5 人

« 3 級検定チーム »

回	期 日	会 場	参加人数
第 1 回	1 月 19 日 (木)	J V C A 事務所	5 人
第 2 回	4 月 23 日 (日)	J V C A 事務所	4 人
第 3 回	8 月 2 日 (水)	J V C A 事務所	3 人
採 点	9 月 28 日 (木)	J V C A 事務所	2 人
第 4 回	10 月 10 日 (火)	J V C A 事務所	5 人
採 点	11 月 18 日 (土)	J V C A 事務所	1 人
採 点	12 月 16 日 (土)	J V C A 事務所	2 人

⑤『ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキスト』の改訂

⇒1 級検定テキストを発行 (5 月)、受験者へ送付した。

⑥『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の改訂

⇒2 級検定サブテキストを修正し発行 (4 月)、受験者へ送付した。

⑦検定合格者 (3 級・2 級) に対するメールマガジンの提供

(検定合格者向けプロジェクトチーム担当)

- ・3 級ホルダー通信 5 号 発行日 : 4 月 28 日
- ・2 級ホルダー通信 5 号 発行日 : 5 月 9 日

⑧ 1 級・2 級検定合格者フォローアップ研修の開催

全国ボランティアコーディネーター研究集会 2017 (大野城) の前日企画として、「ボランティアコーディネーションカ検定 1・2 級合格者の集い」を企画し、実施した。

タイトル	期日・会場	ホスト・企画	参加者
ボランティアコーディネーションカ検定 1・2 級合格者の集い 〈縁結び・おむすびパーティ〉	3 月 3 日 (金) 19:00~22:00 福岡 N P O 共同事務所	長谷部 治 竹田 純子 永井 美佳 早瀬 昇	25 人

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

① **メールマガジン（会員向け）の発行**（月1回）

めるまが Co☆Co☆Net 第140号～第151号の発信（12回）

② **JVCA公式 facebook の運営**

WEB委員会と事務局を中心に、運営委員も機会に応じて記事を掲載している。

③ **JVCAリーフレットの増刷**

A4判両面カラー刷りのJVCA紹介と会員加入促進チラシを増刷 3,500部

④ **WEBサイトの充実**

団体に関わる基本情報、等の修正個所の確認、年度更新情報を修正した。

WEBサイトのリニューアルに向けてチームを中心に「グローバルメニュー」を確定し、トップページのラフ案やサイトマップ案を協議し、移行準備を進めた。

⑤ **ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集**

WEBサイトの情報についてはとくに追加なし

⑥ **個別相談への対応**

・会員メールリストによる会員相互の相談助言活動の促進

悩み相談、意見発信、問題提起、情報交換など、会員メールリストに寄せられる相談を通して会員同士のコミュニケーションを促進した。

会員メールリスト利用件数 174件

⑦ **ボランティアコーディネーションについての普及啓発**

・JVCAのPR、ボランティアコーディネーター基本指針、ご存知ですか？ボランティアコーディネーター（ポスター）の配付など、情報提供を継続している。

・事務局に入った電話、Eメール、FAX等での相談、問い合わせ、連絡などに対応した。

(5) 広報紙および出版物の発行

① **ニューズレター『Co★Co★Net』の発行** 年3回（発行月：4月、8月、12月）

Co★Co★Net 第50号

特集：JVCC2017分科会から [病院] & [環境]

4月15日発行 500部

Co★Co★Net 第51号

特集：子どもを支えるボランティアを受け入れるマネジメント実践の現場から

8月31日発行 500部

Co★Co★Net 第52号

特集：ボランティアの継続を支えるリコグニションの手法と実践

12月10日発行 500部

再掲②ボランティアコーディネーションカ1級検定テキストの発行

B5判 131ページ 100部 5月1日発行

再掲③ボランティアコーディネーションカ2級検定テキストの発行（一部改訂）

B5判 160ページ 150部 4月30日発行

④生活支援コーディネーター活動ハンドブック「住民主体の社会資源開発に役立つボランティアコーディネーションカ」の発行

A4判 56ページ 400部 2月1日発行

⑤ボランティアコーディネーター「グッドプラクティス事例集」の発行

2016年度に発行した『グッドプラクティス事例集 Vol.1 ボランティアコーディネーションのツボがわかる』を完売したため、増刷を行った。 300部

(6) 調査・研究活動の推進

① J V C A 認定ボランティアコーディネーターシステムの開発

「認定ボランティアコーディネーターシステム研究会」の継続メンバーを再編したが、方針の変更をふまえ解散した。

No	研究会メンバー	所 属
1	筒井のり子	龍谷大学
2	妻鹿ふみ子	東海大学
3	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
4	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

②「検定・認定システム化検討委員会」の継続（本年度をもって活動終了）

No	委員名	所 属	◎委員長	○副委員長
◎1	筒井 のり子	龍谷大学		
○2	栗木 梨衣	愛知県国際交流協会		
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会		
4	早瀬 昇	大阪ボランティア協会		
5	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター		
6	赤澤 清孝	ユースビジョン		
7	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク		
8	上田 英司	N I C E		
9	門馬 優	T E D I C		
10	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会		

<委員会の開催>

回	期 日	会 場	参加人数
第77回	4月9日(日)	J V C A事務所	7人
第78回	6月4日(日)	J V C A事務所	5人
第79回	11月3日(祝・金)	J V C A事務所	7人

③「検定・認定プロモーション委員会」の継続

検定システムの普及や、専門職としてのボランティアコーディネーターの社会的・組織的認知を向上させるための方策を検討する。

⇒委員会の設置期間を終了し、タスク整理のためにプロジェクトチームを設置した。

④実務者向けボランティアコーディネーター研修体系の検討と試行

研修開発委員会を中心にボランティアコーディネーションの実務者向けの研修体系を検討した。

回	期日	会場	参加人数
第1回	3月27日(月)	JVCA事務所	4人

⑤その他、社会情勢に応じた情報収集と提供

新たな制度改正の動きをふまえ、現場へ影響についての情報や課題を分析する。

⇒4月の理事会にて各理事よりプレゼンテーションを実施。さまざまな分野における

状況共有とボランティアコーディネーションの視点からの課題を確認した。

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

①C o C oサロンの開催・運営支援

・C o C oサロンの開催状況

日程	地域/分野	会場	参加人数	主な内容
1月22日 (日)	関西	日常生活支援 ネットワーク	17人	大阪での運営委員会終了後に、会場を提供いただいたNPOの事務所にて鍋パーティを開催した。
1月25日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方の デザイン研究所	6人	長沼豊氏著『人が集まるボランティア組織をどうつくるのか』の読み合わせ(前回の続きから P.23 公益性の記述の前まで)と、ディスカッションを行った。
1月25日 (水)	庄内	楽家	4人	テーマ「新年の抱負を語る」。2017年をどんな年にしたいかなど、「新年の抱負を語る」とともに、ゆるやかな情報交換を行った。
2月7日 (火)	長野	うらん	15人	加留部貴行理事を囲んで、日頃の地域の現場での多様な人たちとの場づくりなどについて語り合いと懇親を行った。
2月22日 (水)	庄内	楽家	8人	テーマ「2016年度のふりかえりと2017年度に向けて」新メンバーも迎え改めて自己紹介からはじめ、それぞれの実践や学びを情報交換し、交流を深めた。

2月23日 (木)	盛岡	フキデチョウ文庫	7人	NPO 支援センター、社協、介護事業所、企業、大学からの参加者が、それぞれにおけるボランティアコーディネーションの状況、課題について自由に話し合った。
2月24日 (金)	関西	お好み焼き 千日前 はつせ	11人	西川正理事を囲んで、大阪の老舗のお好み焼き屋にて、楽しいソーシャルな話と交流のひと時をもった。
3月10日 (金)	庄内	楽家	10人	テーマ「こころの健康づくりと私たちにできること」：【CoCo-Ro 元気サロン】日本ファシリテーション協会の徳田太郎さんをゲストスピーカー招き、「最近気になること」を紹介しながら語り合った。
3月11日 (土)	北九州 Link 福祉施設	小倉南障害者地域活動センター	6人	後藤麻理子事務局長を囲んで、施設×地域の協働のあり方をともに考え、その後おいしい食べ物とワインを飲みながらの交流会を行った。
4月8日 (土)	盛岡	岩手県立大学 アイーナキャンパス	24人	「これってボランティア？」人はなぜボランティアをするのか」という2つのテーマのグループワークを通じてボランティアコーディネーションの視点を語り合った。
4月26日 (水)	庄内	楽家	4人	テーマ「ファシリテーショングラフィックを考える」。聴く・書く・まとめる・すすめるなどのファシリテーショングラフィックについて学び合い情報交換を行った。
5月12日 (金)	庄内	楽家	8人	テーマ「ファシリテーション」。加留部貴行理事をゲストスピーカーに招きファシリテーションの効用、経験談などをお聞きし、情報交換した後、懇親会を行った。
5月17日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方の デザイン研究所	7人	H29年度のテーマ決めとJVCCをきっかけに初参加の方の施設の取り組み紹介を受け、意見交換を行った。
5月22日 (月)	松本	カーヴ隠れや	7人	加留部貴行理事を囲んで、日頃の地域や職場での多様な人たちとの場づくりなどについて語り合いと懇親会を行った。
6月28日 (水)	庄内	楽家	3人	テーマ「ボランティア講座・研修を考える」。ちょっと楽しい参加したくなる講座についての話し合いと情報交換を行った。

7月10日 (月)	佐世保	ファミリーサポート センター佐世保	6人	加留部貴行理事を囲んで日頃の課題などを出し合い、ファシリテーションについて学んだ。終了後は懇親会を行った。
7月26日	庄内	楽家	3人	テーマ「ボランティア講座・研修を考える」Part 2。魅力的なボランティア講座・研修を語り合う第2弾。
7月19日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方の デザイン研究所	5人	「地域包括ケアシステムとボランティアコーディネーター」をテーマに、特養「好日苑」施設長・渡辺英雄さんに事例を紹介いただき、情報交換を行った。
8月10日 (木)	ひたち野 うしく	SNAPPY	3人	阿見町社協に講師で赴いた池田幸也氏（正会員：常磐大学教授）を迎え、会員同士の交流を行った。
8月30日 (水)	庄内	楽家	4人	テーマ「ボランティアコーディネーション力を考える」と題し、ボランティアコーディネーションの基本を確認し、情報交換も行った。
9月10日 (日)	岐阜	アクティブG 「あお井」	13人	岐阜駅近くのハートフルスクエアGで開催した運営委員会終了後に県内の会員に呼びかけ交流会を行った。
9月20日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方の デザイン研究所	7人	今年度テーマ「地域包括ケアシステム」に沿って、システムについての説明や確認、意見交換を行った。
9月24日 (日)	庄内	楽家	8人	唐木理恵子代表理事をゲストに迎え、山形名物「芋煮」を囲みながら懇親会を開いた。
10月25日 (水)	庄内	楽家	4人	メンバー同士の学びのおすそ分けということで、ホワイトボードミーティングの研修の報告を共有した。
11月27日 (月)	庄内	楽家	10人	日本ファシリテーション協会フェローの徳田太郎さんをゲストスピーカーにお迎えして懇親会を開催した。
11月15日 (水)	北九州 Link 福祉施設	生き方の デザイン研究所	12人	テーマに沿って障害者施設「南活」CO松崎弘嗣さんの事例発表の他、施設、病院での取り組み、県外参加者から状況報告などいただき、情報を交換した。
12月7日 (木)	富山 (魚津)	旬菜酒房 まめな家	5人	唐木理恵子代表理事を迎えて、富山県の東側エリアの市町村社協職員に声をかけ、社協やボランティアセンターの今後のあり方について情報交換を行った。

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めている。

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
 - 幹事会への参加
 - 提言プロジェクトチームへの参加
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）への参加
- ・他団体が実施（主催）する委員会等への協力、参加（委員委嘱）
 - i) 東京都中央区地域振興課：中央区協働推進会議 委員
 - ii) 全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
 - iii) 日本 NPO センター：評議員（～6月）
 - iv) 瑞穂町社会福祉協議会：ボランティアセンター運営委員会アドバイザー（～3月）
 - v) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 委員
 - vi) キリン福祉財団：助成金選考委員（～3月）
 - vii) チャリティホワイト新規プロジェクト：選出委員
 - viii) 東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
 - ix) 東京都生活文化局：共助社会づくりを進めるための検討会 委員
 - x) シャプラニール：評議員（～6月）、理事（6月～）
- ・後援（名義使用の許可）
 - i) 日本精神保健福祉士協会全国大会／日本精神保健福祉士学会学術集会：日本精神保健福祉士協会
 - ii) 社会貢献教育オープンシンポジウム：日本ファンドレイジング協会
 - iii) ファンドレイジング・日本 2018：日本ファンドレイジング協会

■ 2 組織運営と財政

(1) 通常総会

開催日 2017年3月5日(日)
会場 大野城まどかぴあ
正会員数 351人 定足数 176人
出席者数 249人(会場34人、意思表示109人、委任106人)
審議結果 第1号議案 2016年度事業報告案ならびに決算案について
第2号議案 2017年度事業計画案ならびに予算案について
提出した議案はすべて承認された。

(2) 理事会

第9期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿
(2016年4月1日～2018年3月31日)

No.	氏名	所属先	地域
1	赤澤 清孝	特定非営利活動法人ユースビジョン／大谷大学	京都
2	鵜尾 雅隆	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会	東京
3	鹿住 貴之	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK	東京
4	唐木理恵子	紬ワークス	東京
5	加留部貴行	特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会／九州大学	福岡
6	栗木 梨衣	公益財団法人愛知県国際交流協会	愛知
7	後藤麻理子	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	東京
8	斉藤 悦子	特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会	北海道
9	塩澤 達俊	社会福祉法人与ちぎYMCA福祉会	栃木
10	西川 正	認定特定非営利活動法人ハンズオン！埼玉	埼玉
11	野尻 紀恵	日本福祉大学	愛知
12	長谷部 治	社会福祉法人神戸市兵庫区社会福祉協議会	兵庫
13	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会／日本NPOセンター	大阪
14	疋田 恵子	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会	東京
15	妻鹿ふみ子	東海大学	神奈川

理事会の開催（計画：4回）

回	日程	会場	出席	審議事項
第58回	2月12日 (日)	Flag 三条 (京都市)	11人	第1号議案 2016年度事業報告・決算案について 第2号議案 2017年度事業計画・予算案について 第3号議案 2017年度の管理職賃金の考え方について 第4号議案 本務組織のルール等で謝金を受け取れない場合の特別措置について 第5号議案 講師派遣事業等に係る内規の改定について 第6号議案 2017年度運営委員選考委員の選任について
第59回	4月2日 (日)	飯田橋 セントラルプラザ (東京都)	10人	審議事項なし 【協議事項】第3期中期ビジョンの見直しと今後を展望するために
第60回	7月23日 (日)	ユースビジョン (京都市)	13人	第1号議案 上半期の事業執行状況と下半期の事業推進について 第2号議案 第3期中期ビジョンの見直しについて
第61回	12月23日 (祝・土)	喫茶ルノアール マイ・スペース四谷店 (東京都)	13人	第1号議案 2018年度事業計画および暫定予算案について 第2号議案 特定非営利活動法改正に伴う定款変更について 第3号議案 2018年度検定試験委員について 第4号議案 認定ボランティアコーディネーターシステム開発の見送りと方針変更について 第5号議案 検定・認定システム化検討委員会の終了と新たな委員会の設置について 第6号議案 就業規則の改訂について 第7号議案 賃金規程の改訂について

(3) 監事監査

2016年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2017年 2月8日(水) 場所 J V C A事務所

監 事

No.	氏 名	所 属	地域
1	安藤 雄太	東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー	東京
2	内野 恵美	内野公認会計士事務所	東京

(4) 役員改選準備

第10期(2018.4.1~2020.3.31)役員改選に向けて、役員改選規程に基づき、理事候補者の過半数を選ぶ会員選挙を実施した。

選挙人(正会員) 365人 投票者数 103人 投票率: 28.2%

(5) 委員会

①運営委員会の設置 (計画: 月1回・12回)

2017年度運営委員体制(2017.4-2018.3)

※所属は2017年末現在

◎運営委員長 ○副委員長

NO	氏 名	地域	所 属
1	岩浪 武司	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす
3	土崎 雄祐	栃木	宇都宮大学
4	浦東 聖野	埼玉	(市民活動支援団体)
5	足立 陽子	東京	首都大学東京 ボランティアセンター
6	阿部陽一郎	東京	中央共同募金会
7	飯塚 和幸	東京	西東京市社会福祉協議会
8	上田 英司	東京	認定特定非営利活動法人日本 NPO センター
9	唐木理恵子	東京	紬ワークス
◎	10 鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK
11	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会
12	後藤麻理子	東京	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
13	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会
14	武藤 祐子	東京	千代田区社会福祉協議会
15	米田 太郎	東京	社会福祉法人八晃会宝光保育園
16	倉本 泰孝	神奈川	葉山町社会福祉協議会
17	仲丸 等	神奈川	横浜市戸塚区社会福祉協議会
○	18 三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会
19	竹脇 恵美	長野	木曾町社会福祉協議会

20	戸田千登美	長野	長野県長寿社会開発センター
21	加藤 舞美	愛知	名古屋市市民活動推進センター
22	田中 利昌	愛知	名古屋市市民活動推進センター
23	清水 由子	岐阜	岐阜市教育文化振興事業団
24	筒井のり子	滋賀	龍谷大学
25	高宮城亜矢香	京都	京都造形芸術大学
26	西 誠	京都	佛教大学
27	青山 織衣	大阪	岸和田市社会福祉協議会
28	小林 政夫	大阪	大阪ボランティア協会
29	椎名 保友	大阪	特定非営利活動法人日常生活支援ネットワーク
30	早 瀬 昇	大阪	大阪ボランティア協会／日本 NPO センター
31	杉浦 健	兵庫	共働プラットフォーム
32	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸
33	加留部貴行	福岡	特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会／九州大学

○

・運営委員会の開催

回	日程	会場	出席
第1回	1月22日(日)	特活) 日常生活支援ネットワーク(大阪)	13人
第2回	2月4日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	11人
第3回	3月12日(日)	キャンパスプラザ京都	8人
第4回	4月22日(土)	大学生協杉並会館(東京)	18人
第5回	5月6日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	15人
第6回	6月4日(日)	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス	16人
第7回	7月16日(日)	松本・浅間温泉和泉荘	24人
第8回	8月13日(日)	キャンパスプラザ京都	15人
第9回	9月10日(日)	ハートフルスクエアG	14人
第10回	10月14日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	13人
第11回	11月5日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	13人
第12回	12月9日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	13人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を担い、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を設置し、推進した。

(活動実績は会議開催のみを掲載)

i) 研修開発委員会 …基礎研修等や実務者研修等の準備、実施、実務研修体系づくり

■メンバー:後藤麻理子、小原宗一、加留部貴行、筒井のり子、倉本泰孝

回	日程	会場
第1回	3月27日(月)	JVCA事務所

- ii) J V C C 企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会 2017 実行委員会への参加、JVCC2018 の開催地検討・調整

JVCC2018 準備会および実行委員会へ出席

■メンバー：三田響子、唐木理恵子、土崎雄祐、杉浦 健

回	日程	会場
第 1 回	4 月 22 日 (土)	大学生協杉並会館
第 2 回	9 月 10 日 (日)	ハートフルスクエア-G (岐阜)

- iii) 財政委員会 …財政シミュレーションと具体的な財源強化対策、事業計画にもとづく活動予算の作成

■メンバー：早瀬 昇、鹿住貴之、阿部陽一郎、鶴尾雅隆、飯塚和幸、土崎雄祐、米田太郎

回	日程	会場
第 1 回	1 月 28 日 (土)	J V C A 事務所
第 2 回	2 月 2 日 (木)	J V C A 事務所
第 3 回	4 月 22 日 (土)	大学生協杉並会館
第 4 回	6 月 4 日 (日)	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
第 5 回	12 月 5 日 (火)	J V C A 事務所

- iv) WEB 委員会 …公式 facebook の運営、JVCA の WEB サイトの改善、メンテナンス

■メンバー：西 誠、高宮城亜矢香、足立陽子、橋口文博、田中利昌

1 月の運営委員会において WEB サイトの改善タスクに特化した「WEB サイトリニューアルチーム」(期間限定のプロジェクト) の設置を提案し、承認された。

- iv) -2 WEB サイトリニューアルチーム

■メンバー：上田英司、JVCA 事務局 ※WEB 委員会メンバーがオブザーバー参加

回	日程	会場
第 1 回	2 月 1 日 (水)	J V C A 事務所
第 2 回	2 月 4 日 (土)	東京ボランティア・市民活動センター
第 3 回	4 月 22 日 (土)	大学生協杉並会館
第 4 回	6 月 4 日 (木)	首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
第 5 回	12 月 9 日 (土)	東京ボランティア・市民活動センター

- v) 地域プロモーション委員会…会員獲得のための戦略的なアプローチ、重点地域や事業とのリンク、課題ごとの会員ミーティングの実施

■メンバー：加留部貴行、熊谷紀良、岩浪武司、栗原穂子、青山織衣、武藤祐子、

椎名保友、竹脇恵美/ココサロン PT：疋田恵子、仲丸 等、戸田千登美

年度当初より、当面「ココサロンプロジェクトチーム」と合同で開催することを確認。共同のミーティングリストも開設した。さらに、12 月の運営委員会において、ココサロンプロジェクトチームを地域プロモーション委員会に合併することを決定した。

回	日程	会場
第1回	6月4日(日)	東京ボランティア・市民活動センター
第2回	8月13日(日)	KENYA 京都店
第3回	9月10日(日)	ハートフルスクエア-G(岐阜)
第4回	10月11日(水)	東京ボランティア・市民活動センター
第5回	11月5日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス
第6回	12月9日(土)	東京ボランティア・市民活動センター

③専門委員会の設置、運営

- i) 検定・認定システム化検討委員会 ⇒「事業の推進(6)」に記載
- ii) 検定試験委員会 ⇒「事業の推進(3)」に記載
- iii) 検定・認定プロモーション委員会 ⇒「事業の推進(6)」に記載
- iv) 認定ボランティアコーディネーターシステム研究会 ⇒「事業の推進(6)」に記載

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

- i) CoCo サロンプロジェクトチーム ココサロンの開催呼びかけ、運営支援
⇒4月にメンバーを再編。地域プロモーション委員会と合同で開催、その後合併
- ii) 検定合格者向けプロジェクトチーム 合格者向けメールマガジンの作成、発信
(田中利昌、疋田恵子、三田響子) ⇒「事業の推進(3)」に記載
- iii) グッドプラクティス事例集編集チーム 事例集の編集
(筒井のり子、後藤麻理子) ⇒VOL.1増刷およびVOL.2の企画
- iv) 生活支援サービス開発とボランティアコーディネーション編集チーム
(小原宗一、井岡仁志、疋田恵子) ⇒2月に発行
- v) 労務改善プロジェクトチーム ⇒(7)-②に記述

(6) 会員拡大および会員サービスの充実

①顧客・支援者データベースの構築

Salesforceの導入により、統合した顧客データベースの活用を検討した。

②会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、JVCC2017参加と入会の案内を行った。
- ・主催研修ならびに講師派遣研修において会員勧誘のチラシを配布した。
- ・JVCC参加申込みの際に簡易な手続きで入会できるようにWEB上の申込フォームに「会員になる」という項目を加え、入会を促した。

③会費納入率の向上

会費請求については現時点では郵送とEメールによる納入依頼を行った。

④会員継続への働きかけの強化

会費納入方法についてクレジット決済が加わったことを周知した。

⑤賛助会員（個人）の拡大

具体的な働きかけは行っていない。

<2017年度末の会員数>

		2017	2016	2015	2014
会員総数		459人	479人	470人	465人
	正会員	355人	371人	378人	377人
	準会員	29人	44人	39人	41人
	賛助会員（個人）	66人	56人	43人	38人
	賛助会員（団体）	9団体	8団体	10団体	9団体

（7）事務局運営の充実

①事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

⇒8月16日（水）実施 担当：鹿住貴之理事

②労務改善プロジェクトチームの設置

早瀬 昇、阿部陽一郎、上田英司、鹿住貴之、疋田恵子

⇒12月理事会で審議する賃金規程および就業規則の改正案を作成した。

回	日程	会場
第1回	10月31日（火）	JVCA事務所

③職員採用

2016年12月末に事務局職員が退職したことに伴い、職員の公募を行い、1月1日付で福谷麻里を採用した。（常勤嘱託契約）

（8）財源の確保と財政運営

①会費収入の拡大

会員拡大策について財政委員会を中心に検討し、JVCC2017の会場などで勧誘のアクションを行った。

②事業収益の拡大

検定受験者の確保に努めた ⇒共催検定が目標回数に届かず、年間受験目標を達成することができなかった。次年度は3級検定の共催先の開拓が課題である。

講師派遣先を開拓する ⇒WEBサイトによりPRを継続した。

③寄付者の拡大 ⇒下半期にキャンペーンを実施した。

④助成金、委託事業などの活用

・助成金の申請： 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2018 を開催する費用について、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を申請し、採択された。

・gooddo の支援者拡大

自分の応援したい社会貢献団体（NPO/NGO）を、誰でも、簡単に応援することができるソーシャルプラットフォーム [gooddo] への協力を求め、支援額を確保した。

⇒JVCC2107 の参加者に対し、協力を求めるチラシを作成し、配布した。さらに、名刺サイズの PR カードを作成し、つながり広場などで配付した。チラシおよびカードのデザインは高宮城亜矢香運営委員が担当した。

<支援金確定額>

月	合計	クリック・シェア	いいね！・商品購入
2017年1月	29,674円	29,185円	489円
2月	26,278円	25,947円	331円
3月	21,569円	19,504円	2,065円
4月	26,926円	26,076円	850円
5月	27,033円	26,018円	1,015円
6月	26,075円	25,967円	108円
7月	32,896円	32,415円	481円
8月	26,451円	25,998円	453円
9月	26,362円	25,924円	438円
10月	33,133円	32,402円	731円
11月	26,545円	25,920円	625円
12月	32,463円	32,410円	53円

⑤「おサイフ通信」の発行

第8号 6月5日 配信

第9号 12月6日 配信

寄付者名簿

ご協力ありがとうございました

100件、96人の皆様からご寄付を頂戴いたしました。このうち88件が認定特定非営利活動法人の申請（更新）の際に要件となるパブリックサポートテスト（PST）の対象になる寄付です。重ねて御礼申し上げます。

赤石 千秋	熊澤 桂子	早瀬 智弘
足立 陽子	公文 真理亜	早瀬 昇
穴見 千佳	幸田 芳明	早瀬 美和
阿南 健太郎	河野 尚美	疋田 淑子
阿部 陽一郎	後藤 麻理子	弘中 秀治
飯塚 和幸	小谷 広幸	福谷 麻里
池田 明彦	小嶺 仁	福谷 亮子
石川 祥子	小山 順一	藤井 康隆
石川 到覚	佐伯 明彦	藤敦 大輔
石山 雅弘	佐々木 俊宙	堀 あゆ美
石山 満夫	佐藤 匠	松居 智和
石山 由弘子	佐藤 正子	松本 貴久
入江 陽子	佐藤 茂雄	松本 まり子
岩下 広和	佐藤 卓也	三田 響子
上田 英司	澤田 奈男	三田 美枝子
江口 敦子	塩入 博之	武藤 祐子
江森 謙太郎	清水 誠	村上 直美
遠藤 紗穂里	清水 由子	妻鹿 ふみ子
及川 美智子	城 千聡	森坂 健治
岡村 公一	鈴木 孝芳	森坂 尚子
岡村 浩充	鈴木 陽子	山崎 智文
小原 宗一	竹脇 恵美	山地 晴義
海士 美雪	田中 利昌	横田 博嗣
鹿住 泰久	垂井 加寿恵	米田 明子
上垣内 安子	土崎 雄祐	米田 健太
唐木 理恵子	筒井 のり子	米田 和代
加留部 貴行	椿 秀夫	米田 太郎
河野 大将	中川 朋子	ほか、匿名3人
木村 保男	丹羽 史泰	
木村 遊	丹羽 みどり	
菊池 浩史	橋口 文博	
北出 真由美	濱屋 伸子	
熊谷 紀良	早瀬 耕弘	